

障害のある人もない人も安心して暮らせる “ぱれっとの家 いこっと”

1) 事業立ち上げの背景

現在、知的障害者の8割以上が自宅で、主に親の介助・支援を受けながら暮らしています。それ以外の方でグループホームやケアホームなどの入所施設で暮らしている方もいますが、親や施設から自立して生活している方はごく少数であるのが現状です。しかし、障害が軽度で身の回りのことが自立してできる方もおり、少しのサポートがあれば親や施設から自立した生活が十分可能な方もいると思われます。そうした方に特定非営利活動法人ぱれっと（以下、ぱれっと）がサポートをすることで、知的障害者が自立して生活する機会を増やしていきたいと考えました。

ぱれっとが考える障害者が自立して生活する一歩を踏み出すために必要な少しのサポートとは、同じ家に共に暮らす“人”がいることだと考えました。そこで、2009年1月に企業との協働により知的障害者と健常者が共に住む新しいタイプの家をつくる、**ぱれっとの新しい家づくり計画**（以下、新しい家づくり計画）を立ち上げ、この度、**ぱれっとの家 いこっと**（以下、いこっと）が完成しました。このような事業は全国にもまだ事例が少ないため、この事業が成功し、モデルとして全国に広がっていくことで、障害者の暮らしの選択肢が広がると考えています。

2) 企業との協働事業

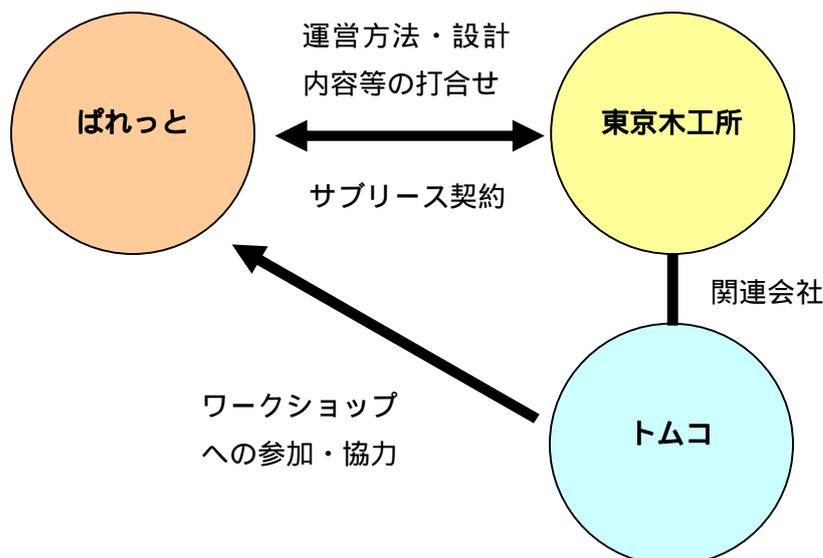
新しい家づくり計画は、長年ぱれっとを支援していただいている株式会社東京木工所（以下、東京木工所）に、計画の意義を賛同いただき、ぱれっとと東京木工所の協働事業として始まりました。具体的には、東京木工所が土地の提供と建物の建設を担い、ぱれっとが建物をサブリースで借り受けて運営していきます。設計を担当された株式会社トムコの担当の方にもワークショップに参加していただき、建物の設計にはぱれっとがワークショップ等で話合った内容をほぼ全面的に取り入れていただきました。

【企業とぱれっとの役割分担】

株式会社東京木工所・・・土地の提供と建物の建設

株式会社トムコ・・・建物の設計とワークショップへの協力

特定非営利活動法人ぱれっと・・・家づくりワークショップの実施と建物の運営



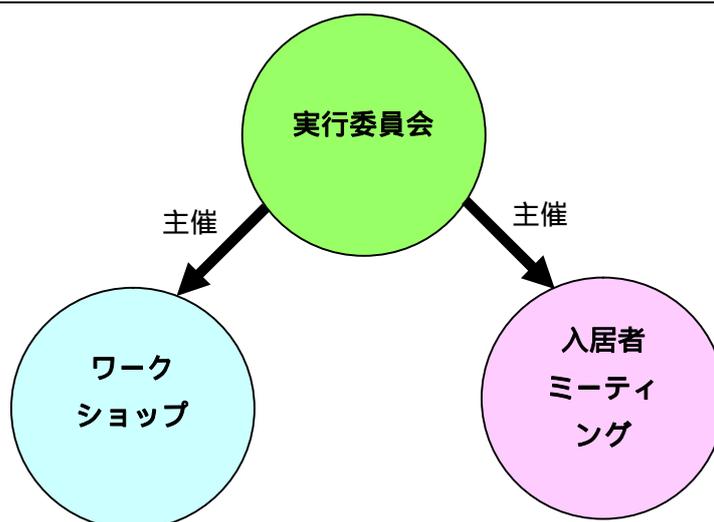
3) 計画段階の組織体制

新しい家づくり計画を始めるにあたり、ぱれっとの職員だけで計画を進めるのではなく、計画の主旨に賛同する様々な立場の人を集め、下記の組織や機会を設け、計画を進めてきました。

家づくり実行委員会・・・ぱれっと職員とボランティア有志により構成し、活動の立案や家づくりワークショップや入居者ミーティングを主催して意見を整理し、計画を推進していく役目。

家づくりワークショップ・・・ぱれっと職員、ボランティア、障害者本人、親、入居希望者が参加し、家づくりの様々な課題を洗い出し、話合う場。

入居者ミーティング・・・入居前に入居者が集まり、共に暮らしていくためのルールなどを話し合う場。ミーティングを通じてお互いのことをよく知り、スムーズな暮らしへとつなげることも目的。



4) ミッション

家づくりワークショップの最初の段階で、新しい家づくり計画の主旨をよく確認し、話合った上で、下記をミッションとして定め、計画を進めてきました。

～ 障害のある人もない人も安心して暮らせる家をつくる～

障害のある人も、自分の力で暮らせる家です。

一人ひとりが個室を持ち、共用のキッチンとリビングがあります。

入居者同士のコミュニケーションを大切にし、自分たちで住まい方を作っていく家です。

5) 家づくりワークショップで話し合った主な内容

家づくりワークショップは全部で24回開催しました。毎回15～20人の参加者が集まり、主に下記の内容を話合ってきました。

生活について・・・「新しい家」での生活のイメージ（障害者と健常者のイメージのギャップ）、不安な点や心配な点とその改善策など。

建物について・・・共用部分の位置・広さ、居室の数・広さ、共用部分と居室のバランス、バリアフリーの考え方、水廻りの位置や数、内装の色など。

その他・・・ミッション、入居者募集チラシの内容、アンケート調査の内容、プレスリリースの内容、建物名称、表札のデザインなど。

6) “ばれっとの家 いこっと”の住まい方

一口に、“知的障害者と健常者が共に住む新しいタイプの家”といっても単に同じ建物に住むだけでなく、入居者同士がコミュニケーションを取りやすい住まいの仕組みが必要です。その仕組みを考える上で、コレクティブハウスの住まい方を参考にしました。

コレクティブハウスとは、「さまざまな人がそれぞれ独立した住戸に住みながら共用のキッチンやリビングなどを利用し、コミュニケーションを深める仕組みをもち、入居者同士が話し合いによって住まい方を共同住宅」です。

“いこっと”は、規模や居住形式的に純粋な意味でのコレクティブハウスとは異なりますが、“入居者同士のコミュニケーションを深める仕組みを持ち、入居者が話し合いながら自分たちで住まい方を作っていく”という意味で、コレクティブハウスの要素を取り入れた住まい方を目指しています。

7) 生活のイメージ

家づくりワークショップで話し合った、いこっとでの生活のイメージをまとめました。

他の入居者全員と知り合いになれるので、普通の一人暮らしよりも安全で安心です。プライバシーが確保された居室があった上での共同生活です。共同生活の中でいろいろな人と関わりが持て、一人暮らしが不安な人も他の入居者と支え合いながら暮らせます。朝の『おはよう・いってきます・いってらっしゃい』や、帰った時の『お帰り・ただいま』などのあいさつをはじめとした入居者同士のコミュニケーションがあふれる温かい生活ができます。食事は基本的には各自がそれぞれでとりますが、月に何回かはみんなでいっしょに夕食を食べる日を設けます。何人かでいっしょに共用キッチンで夕食を作ることもできます。共同生活をする上での基本的なルールや困ったことは、月に1回程度、入居者みんなが集まって話し合い、住まい方を自分たちでつくっていきます。入居者同士、困ったことや分からないことがあった時に気軽に聞ける関係を作ります。知的障害者も住みますが、介護スタッフや世話人が常駐するわけではなく、必要に応じて隣のばれっとホームの職員やばれっと関係者がサポートします。

8) 入居者ミーティング

2010年1月から月に1回の入居者ミーティングを開始し、入居前までに3回行いました。入居開始後も月に1回のペースで行っています。

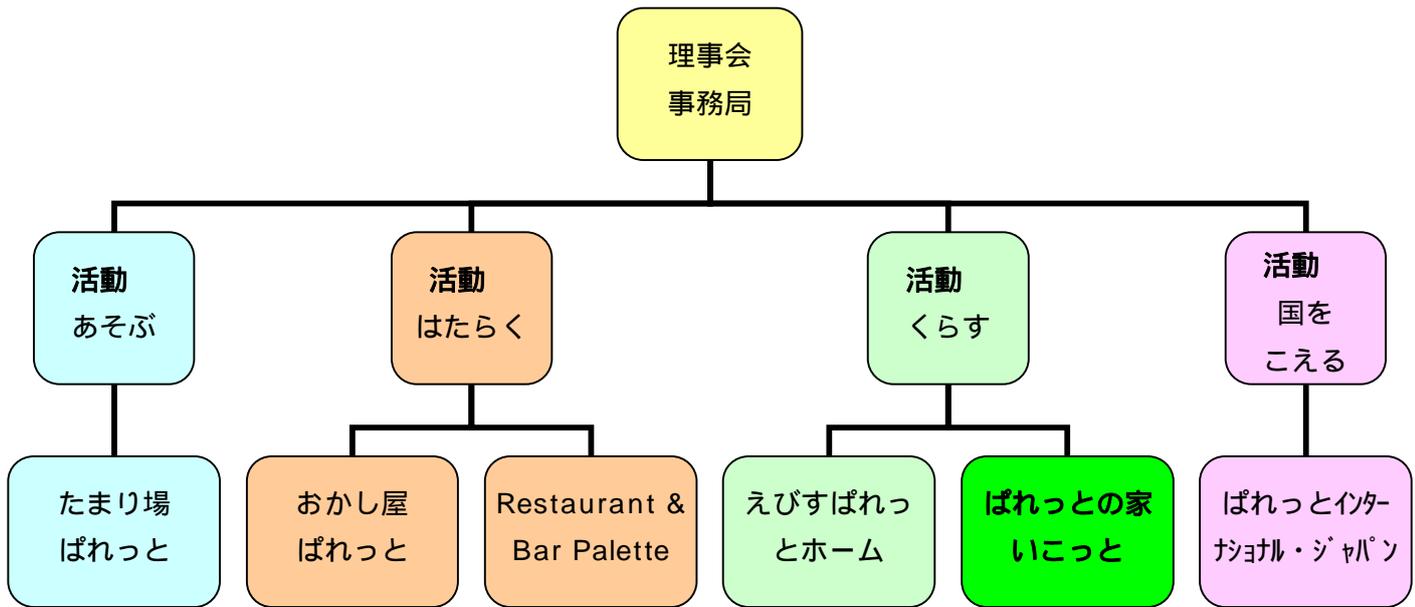
【入居者ミーティングで話合ってきた内容】

いこっとに住もうと思った理由。
いこっとでどんな暮らしをしたいか。
1階の共用キッチン・ダイニング・リビングの呼び方。 “いこ間”に決定。
だれがどの部屋に住むか。
共用部の掃除について。
浴室、シャワー室、トイレ、洗濯スペース、キッチンの使い方。
共用備品として何が必要か。

9) “ばれっとの家 いこっと”の運営体制

【いこっとの位置付け】

いこっとは、ばれっとの“あそぶ”、“はたらく”、“くらす”、“国をこえる”という4つの活動のうち、“くらす”という活動の中の一つとして新たに加わります。



【運営体制】

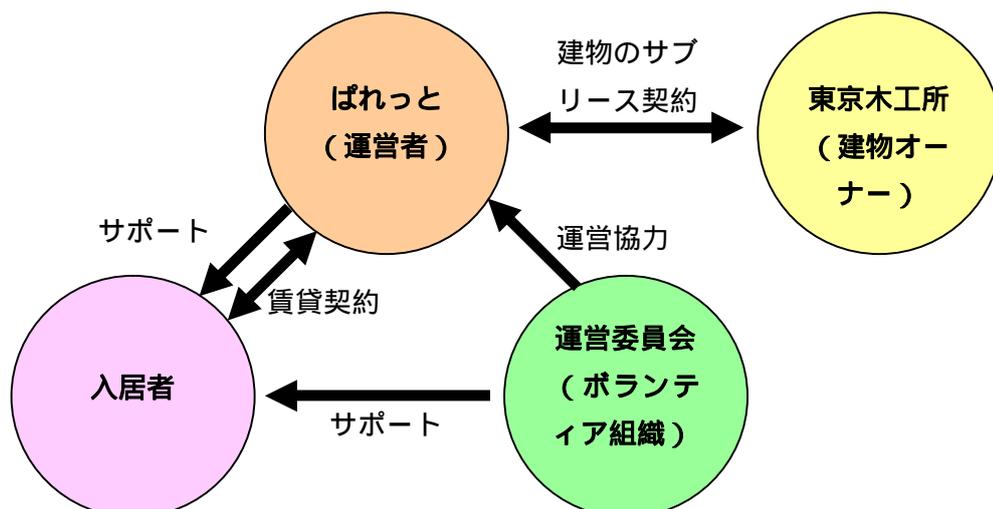
東京木工所とばれっとで建物のサブリース契約を結び、ばれっとと入居者で賃貸契約を結びます。計画段階の実行委員会・ワークショップに替わり、運営段階のために新たなボランティア組織として“運営委員会(仮称)”を設け、ばれっとに協力し、運営をサポートするしくみを作ります。

【ばれっとスタッフの業務】

入居者の窓口、新入居者の手続き、退去者の手続き、待機者リストの作成・管理、東京木工所の窓口、一般の窓口、資金管理

【ばれっとスタッフと運営委員会の協力業務】

入居者ミーティングのサポート、入居者募集、入居希望者への対応、待機者リストの作成・管理、助成金調査・申請、いこっとのくらしの調査・研究、暮らしのサポートシステムの検討



10) 建物の構成

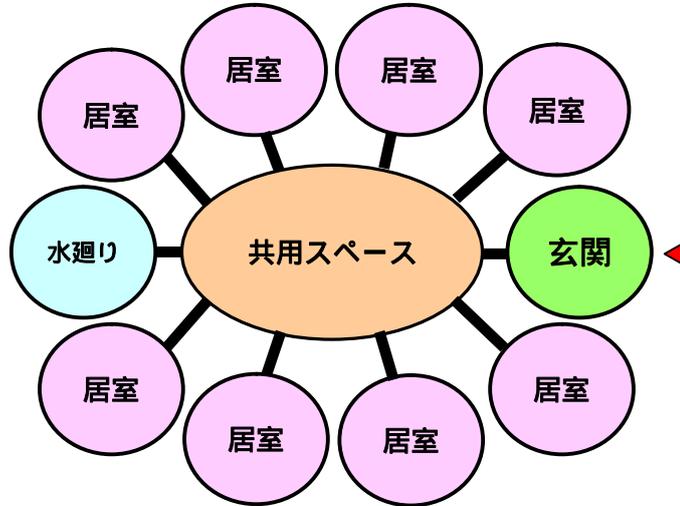
【建物の平面構成】

共用の玄関を入り、共用スペースを経由して各居室にアクセスすることで、共用スペースで他の入居者と顔を合やす機会が増えることを期待しています。

共用スペースはキッチン・ダイニング・リビングを合せて約19畳の広さがあります。

各居室の広さは約6畳です。(収納部分を除く)

キッチン・トイレ・浴室・シャワー・洗面・ランドリーなどの水廻りは共用です。

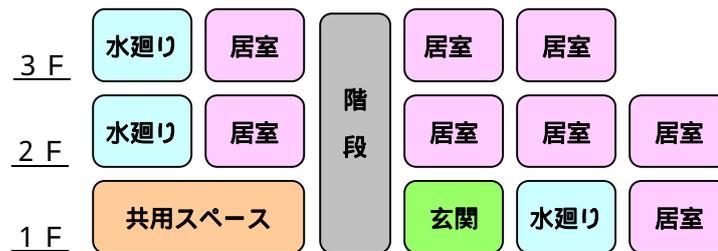


【建物の断面構成】

1階には玄関・共用スペース・居室を1室設け、共用の水廻りには浴室を設置します。

2階は居室が4室あり、共用の水廻りにはシャワーを設置します。

3階は居室が3室あり、共用の水廻りにはシャワーを設置します。



11) 計画概要

住 所：東京都渋谷区東3丁目（恵比寿駅より徒歩約8分：えびすばれっとホームの隣）

建物概要：木造（2×4工法）、地上3階建て（居室数：8室）

敷地面積：約105㎡

延床面積：約169㎡

居室広さ：各室約6畳（収納スペースを除く）

浴室・シャワー・トイレ・洗面・洗濯機は共用。

1階に約19畳の共用キッチン・リビング・ダイニング（通称“いこ間”）あり。

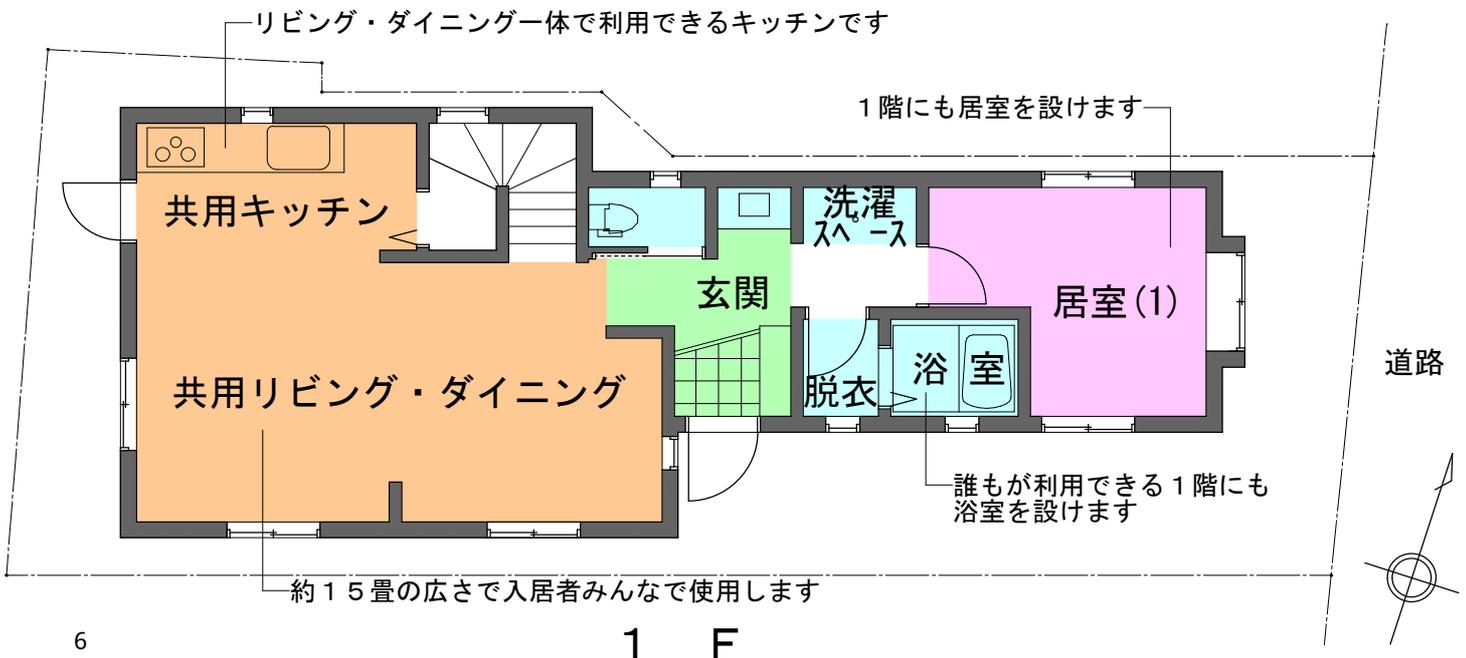
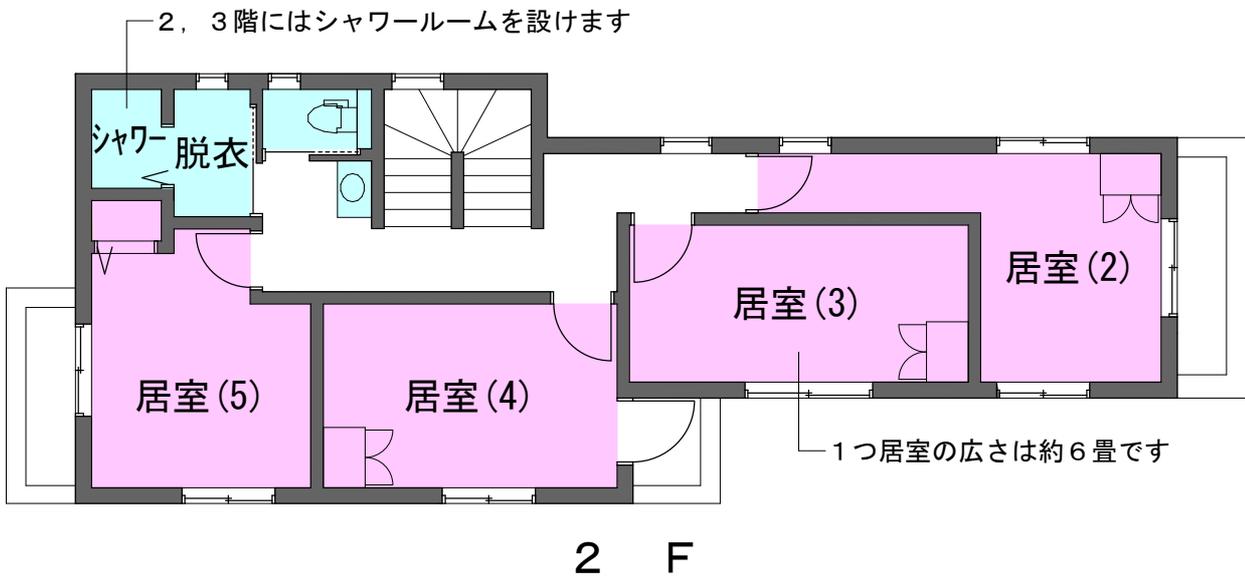
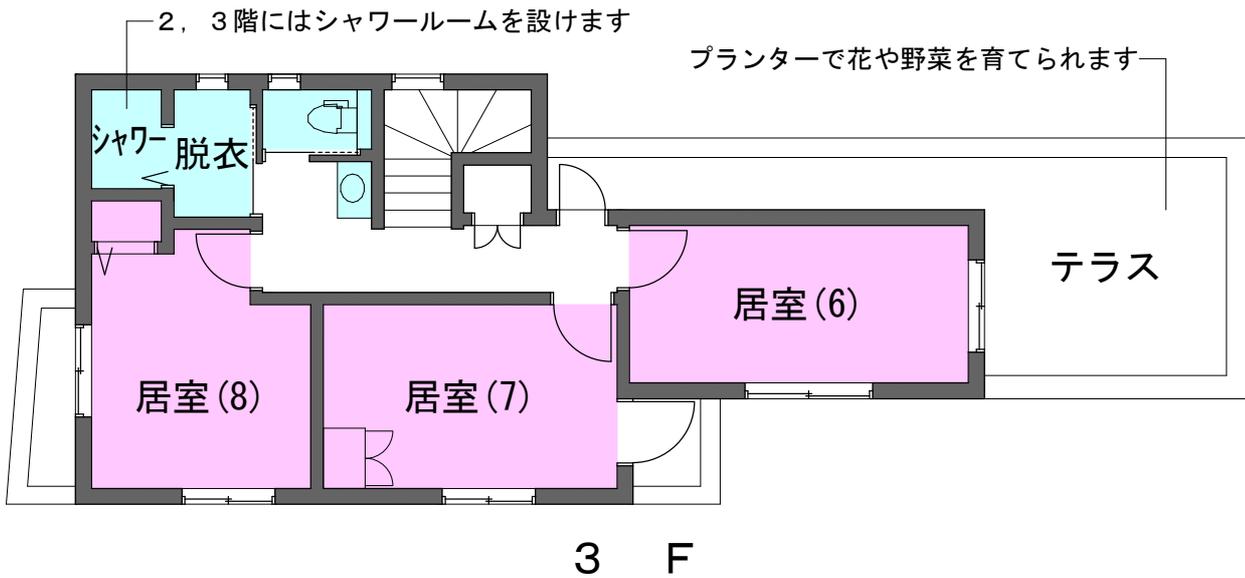
家賃等：家賃6万9千円～7万3千円、敷金2ヶ月、礼金なし（水光熱費は入居者で均等割り）

設 備・・・太陽光発電機、IHクッキングヒーター、ルームエアコン（各室）、

ユニットバス×1、ユニットシャワー×2室、トイレ×3室、洗濯乾燥機×2台、

入居開始：平成22年4月10日

12) ぱれっとの家 いこっと 間取図 (1/100)



知的障害者の一人暮らしに関するアンケート結果 有効回答数：47

Q1. お子さんの年齢お聞かせください

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 10代 | 3人 (6.38%) |
| 2. 20代 | 22人 (46.38%) |
| 3. 30代 | 12人 (25.53%) |
| 4. 40代 | 8人 (17.02%) |
| 5. 50代 | 1人 (2.13%) |
| 6. 無回答 | 1人 (2.13%) |

- | | |
|------------|------------|
| 2. いいえ | 1名 (2.13%) |
| 3. 考えた事はない | 3名 (6.38%) |
| 4. 無回答 | 3名 (6.38%) |

Q2. お子さんの性別をお聞かせください

- | | |
|--------|--------------|
| 1. 男 | 27名 (57.45%) |
| 2. 女 | 19名 (40.03%) |
| 3. 無回答 | 1名 (2.13%) |

理由(複数回答有)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 親亡き後は1人暮らしになるので | 22名 (55%) |
| 2. 自立のため | 9名 (22.5%) |
| 3. 無回答 | 8名 (22%) |

Q3. お差し支えなければ、お子さんの障害をお聞かせください(例 ダウン症候群)

- | | |
|------------|--------------|
| ・知的障害(合併含) | 21人 (44.68%) |
| ・ダウン症候群 | 7人 (14.89%) |
| ・自閉症 | 5人 (10.64%) |
| ・てんかん | 2人 (4.26%) |
| ・神経麻痺 | 1人 (2.13%) |
| ・右半身麻痺 | 1人 (2.13%) |
| ・精神障害 | 1人 (2.13%) |
| ・体幹機能障害 | 1人 (2.13%) |
| ・無回答 | 8人 (17.02%) |

Q8. ご自身が今後、高齢や病気になりお子さんの世話が出来ないと仮定した場合、お子さんの暮らしについて考えた事は今までありましたか

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ある | 44名 (93.26%) |
| 2. ない | 2名 (4.26%) |
| 3. 考えた事はない | 1名 (2.13%) |

Q4. 今回のぱれっとの新しい家づくり計画は知っていましたか

- | | |
|-----------|--------------|
| 1. 知っていた | 16名 (34.03%) |
| 2. 初めて知った | 31名 (65.96%) |

Q9. 実際にお子さんの世話が出来ないと仮定した場合、お子さんにはどのような暮らし方が相応しいとお考えですか(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------|--------------|
| 1. そのまま自宅で暮らす | 14名 (29.79%) |
| 2. 民間のアパートを探し一人で暮らす | 1名 (2.13%) |
| 3. グループホームやケアホームに入居させて暮らす | 37名 (78.82%) |
| 4. 生活寮や通勤寮に入寮させて暮らす | 7名 (14.89%) |
| 5. 親戚(兄弟やいとこなど)や知人をお願いしてその家で暮らす | 12名 (25.53%) |

Q5. 今回の計画をはじめて聞いたときどの様に思いましたか

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. いい試みだと思った | 41名 (87.23%) |
| 2. 特に何も思わなかった | 3名 (6.38%) |
| 3. 必要がないと思った | 1名 (2.13%) |
| 4. 無回答 | 2名 (4.26%) |

Q10. 一人暮らしで民間のアパートを借りる場合、家賃がどのくらいなら実際に住ませたいと思いますか?

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 4万円未満 | 13名 (27.66%) |
| 2. 4万円以上~6万円未満 | 26名 (55.32%) |
| 3. 6万円以上~8万円未満 | 5名 (10.64%) |
| 4. 8万円以上 | 0名 (0%) |
| 5. 民間アパートは借りない | 1名 (2.13%) |
| 6. 無回答 | 3名 (6.38%) |

Q6. 現在のお子さんの暮らし方についてお聞かせ下さい

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 自宅 | 42名 (89.36%) |
| 2. 民間のアパートで一人暮らし | 0名 (0%) |
| 3. グループホーム | 3名 (6.38%) |
| 4. ケアホーム | 1名 (2.13%) |
| 5. 生活寮 | 1名 (2.13%) |
| 6. 通勤寮 | 0名 (0%) |
| 7. 親戚や知人の家 | 0名 (0%) |

Q11. 今回、ぱれっとが作ろうとしている「障害のある人となない人が一緒に住む」家にお子さんを住ませたいと思いましたが

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 思った | 19名 (40.43%) |
| 2. 思わない | 12名 (25.53%) |
| 3. 考えた事は無い | 10名 (21.28%) |
| 4. 決められない | 1名 (2.13%) |
| 5. 将来的には思う | 1名 (2.13%) |
| 6. 無回答 | 4名 (8.51%) |

Q7. お子さんに一人暮らしなどで親元から離れた暮らし(グループホーム、ケアホーム等を含む)を経験させてみたいと思った事はありますか?理由も合わせてご記入ください

- | | |
|-------|--------------|
| 1. はい | 40名 (85.11%) |
|-------|--------------|

Q12. Q11で2または3と答えた方にお聞きします それはなぜでしょうか(複数回答可 回答者：26)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 一人暮らしに不安がある | 12名 (46.15%) |
|----------------|--------------|

2. 財政的(家賃が高い等)な理由で一人暮らしをさせる事ができない
10名(38.46%)
3. 前に一人暮らしをさせていたが難しかった
1名(3.85%)
4. 親が世話をできなくても自宅で一人暮らしをさせた方が安心
2名(7.69%)
5. 他人と一緒に住む事が不安
18名(69.23%)
6. 勤務地から遠い
2名(7.69%)
7. 今の環境で生活させてあげたい
1名(3.85%)

Q13. お子さんが一人暮らしをする場合、(今回の家に住むと仮定した場合)親としては何が一番不安ですか?ある場合は不安の内容を教えてください。特にない場合は先に進んでください(左:回答者の%、右:全体の%)

- ・同居人とのコミュニケーション・関係
11名(23.4%)(28.95%)
- ・相談相手(世話人や指導者の有無)
10名(21.28%)(26.32%)
- ・食事のこと
8名(17.02%)(21.05%)
- ・金銭管理
7名(14.89%)(18.42%)
- ・生活全般
6名(12.77%)(15.79%)
- ・生活のリズム
4名(8.51%)(10.53%)
- ・健康管理
3名(6.38%)(7.89%)
- ・病気の際の対応
3名(6.38%)(7.89%)
- ・共同スペースについて(ルール)
2名(4.26%)(5.26%)
- ・異性と住む事
2名(4.26%)(5.26%)
- ・鍵の管理
1名(2.13%)(2.63%)
- ・終の棲家になりえるのか
1名(2.13%)(2.63%)
- ・衛生管理
1名(2.13%)(2.63%)
- ・非常時対応
1名(2.13%)(2.63%)
- ・無回答
11名(23.4%)

Q14. Q13の不安はどの様に解消されれば不安がなくなるとお思いますか

(左:回答者の%、右:全体の%)

- ・世話人や指導者がいること
13名(27.66%)(35.14%)
- ・同居人が障害者に理解者がある
5名(10.64%)(13.0%)
- ・同居人の情報
3名(6.38%)(8.11%)
- ・食事が毎日でなくても提供される
3名(6.38%)(8.11%)
- ・有事の際の対象法が明確化されている
3名(6.38%)(8.11%)
- ・各部屋にトイレやキッチンがある
2名(4.26%)(5.14%)
- ・サポート体制の充実
1名(2.13%)(2.7%)
- ・役所からの支援
1名(2.13%)(2.7%)

- ・わからない
1名(2.13%)(2.7%)
- ・無回答
12名(25.53%)

Q15. 11月7日に今回の新しい家の入居希望者説明会が開催されます。参加したいと思いますか

1. 思う
13名(27.66%)
2. 思わない
14名(53.85%)
3. 時間が合えば参加してみたい
13名(27.66%)
4. 無回答
7名(14.89%)

Q16. 家づくりワークショップの参加や説明会とは別に直接話を聞いてみたいと思いましたが

1. 思う
16名(34.04%)
2. 思わない
22名(46.81%)
3. 今は不明
1名(2.13%)
4. 無回答
8名(17.02%)

Q17. 障害者の生活方法や今回の家づくりについてのご意見等、自由にご記載下さい(一部を紹介)

- ・理想的な環境だと思う。また立地が町外れではなく都心の一等地にあるという事に驚いている(20代,男性,知的障害4級,身体障害1級)
- ・理想だと思うが親の立場として想像がつかない。考え方としてはこれからの時代に適していると思う(40代,女性,ダウン症候群)
- ・一人ひとりの力が発揮できるよう支える人を望む。どのようにしたら、自立を目指せるか考えてくれる環境を望む(20代,男性,自閉症)
- ・とてもすばらしい試みだと思いますが、色々な面で自主的な人ではないと無理だと思いました(30代,女性,知的障害3級)
- ・障害の有無では大きなハンデがあるので、違和感を感じます。むしろ生活寮など障害者数名を住み込みの寮母さんが面倒見てくれるシステムを歓迎する(30代,女性,知的障害4級)
- ・障害者の個人差があり、生活方法は一言では語れないが、障害のない人と共に暮らす方法は感動です。終の棲家になれば最高ですね(20代,女性,ダウン症候群)
- ・障害者の隔離された生活や、自宅→作業所→自宅のみの生活はさせたくない。生活を楽しく色々経験をしたり、たくさんの人と接する機会を多くしたい(20代,男性,ダウン症候群)
- ・グループホームやケアホームのほうが私の子供にはあっていると思います。しかし、軽度の障害の人たちにとっては良い「試み」だと思います。ぜひ成功させてください。(20代,男性,知的障害)
- ・親は常に理想と現実で悩ませています。将来の事を思い育てているが中々うまくいかない。健常者なら自分で考えなさいと自立を促させるが、障害者はどこまでできるのかがわからず、そこが辛い(30代,女性,ダウン症候群)

ぱれっとの新しい家づくり計画

これまでの活動内容

日付	活動	内容
2008年 12月11日	キックオフミーティング	たまり場ボランティア向けに「新しい家づくり」の構想発表、ワークショップメンバーの募集
2009年 1月10日～ 5月2日	ワークショップ・実行委員会 (第1回～第8回)	家の目的確認、プロジェクト名の検討
		プロジェクト名決定、運営組織体制の確認、今後話し合う内容の検討
5月9日～ 8月22日	松陰コモンズ見学	松陰コモンズ(NPO法人コレクティブハウス社運営)の見学会に参加
	ワークショップ・実行委員会 (第9回～第16回)	各係設定():助成金情報収集、募集チラシ作成、家の周辺ガイド作成、地図作成、アンケート作成、共用備品収集等
9月9日	日本経済新聞(夕刊)掲載	
9月12日～ 10月24日	ワークショップ・実行委員会 (第17回～第20回)	知的障害者の一人暮らしに関するアンケート実施、助成金応募に向けた取り組み
10月15日	入居者募集開始	
10月26日	第1回プレスリリース配信	入居者説明会・敷地見学会
10月31日	コレクティブハウス聖蹟見学	
11月7日	第一回入居希望者説明会・敷地見学会 開催	
11月16日	全国賃貸住宅新聞 掲載	
11月21日	ワークショップ(第21回)・ 実行委員会(第20回)	各種検討(入居までの流れ、入居希望者ミーティングの運営方法、家賃等)
11月28日	「パナソニックNPO 株式会社」最終報告会にてプレゼン(プレゼン内容:「ぱれっとの新しい家」における戦略的な情報発信、広報への取り組み)	
12月5日	実行委員会(第21回～第22回)	『ネットワーク』(東京ボランティア市民活動センター発行)取材
2010年 1月9日	ワークショップ(第22回)・ 実行委員会(第23回)	入居希望者ミーティングの内容・共有備品の集め方検討
1月10日	『ネットワーク 2010年1・2月号』(東京ボランティア市民活動センター発行) 掲載	
1月23日	工事見学&内装検討会	
1月30日	実行委員会(第24回)	入居後の運営体制・保険・備品・助成金の検討
	第1回入居希望者ミーティング	入居希望理由、どんな暮らしをしたいか等想いの共有
2月13日	ワークショップ(第23回)・ 実行委員会(第25回)	建物の名称「ぱれっとの家 いこっと」に決定
2月27日	実行委員会(第26回)	契約内容・表札・完成記念式典の内容検討
	第2回入居希望者ミーティング	掃除や共有スペースの使用のルール作り
3月13日	ワークショップ(第24回)・ 実行委員会(第27回)	表札のデザイン決定、式典の流れ確認、助成金、など
3月23日	第2回プレスリリース配信	
3月27日	実行委員会(第28回)	完成記念式典準備、契約内容・オープン後の運営体制の検討
	第3回入居希望者ミーティング	入居後のルール決め、役割分担検討、部屋決定
4月10日	入居開始	
4月24日	第1回入居者ミーティング	

係の種類：助成金係、広報係、募集係、地域係、生活係、備品係